



東北大学

平成 28 年 4 月 1 日

報道機関 各位

東北大学大学院農学研究科

**東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター  
第 3 期 受講生の募集について**

平成 26 年 4 月 1 日に設立した東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター（センター長・研究科長 駒井三千夫）は、第 3 期生となる受講生の募集を開始致します。

本センターの所定の講義および実習を受講した方には、復興農学マイスター、IT 農業マイスターの資格を本研究科で認定します。農業関係者や災害復興、IT 農業などに興味のある一般社会人および学生を対象としており、社会人と学生がともに学び、ディスカッションを重ねながら、互いに理解を深めます。

**【募集定員】**

復興農学マイスター、IT 農業マイスター 各 40 名程度

**【受講料】**

無料（ただし、実習にかかる実費相当は各自負担となります。）

**【募集受付期間】**

平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 28 年 4 月 18 日（月）

**【申込方法】**

当センターのウェブサイトにある『受講申込用紙』に記入の上、FAX 又はメールでお申込みください。本学の学生については、通常の履修手続きで受講可能です。また、他大学の学生のうち、学都仙台コンソーシアムに加盟している学校の場合、在籍する大学等の担当窓口よりお申し込みください。

**【その他】**

詳細については、別紙募集要項および東北復興農学センターのウェブサイトを参照してください。

<http://www.tascr.agri.tohoku.ac.jp>

**【お問合せ先】**

東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター（TASCR）事務局

担当：大村、安住

メールアドレス： [tascr-agri@ml.tohoku.ac.jp](mailto:tascr-agri@ml.tohoku.ac.jp)

TEL/FAX： 022-717-8934

ウェブサイト： <http://www.tascr.agri.tohoku.ac.jp>

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町 1 - 1



東北大学

東北大学大学院農学研究科

東北復興農学センター

東北大学で、  
「復興」×「農林水産業」を学びませんか？



平成28年度

受講生募集

4月1日(金)よりスタート

一般社会人・大学生、  
どなたでも受講できます。

詳しくは、裏面をご覧ください。

◆お申込み方法

ホームページにアクセスし、申込用紙にご記入の上、  
東北復興農学センター事務局へメール又はFAXにてお申込みください。

東北大学大学院農学研究科  
東北復興農学センター 事務局

〒981-8555 仙台市 青葉区堤通雨宮町1-1

電話・FAX 022-717-8934 (9:00~17:00)

メール [tascr-agri@ml.tohoku.ac.jp](mailto:tascr-agri@ml.tohoku.ac.jp)

ウェブサイト <http://www.tascr.agri.tohoku.ac.jp>

東北復興農学センター

検索

# 平成28年度東北復興農学センター 受講生募集要項

※最新の情報についてはウェブサイトでご確認ください。

## 復興農学マスター(CAR) コース **CAR**: certificated agricultural reconstruction

震災からの復興、自然災害にかかわる農学および先端技術を「復興農学講義」・「復興農学フィールド実習（被災地エクステンション）」を通して理解し、それらを震災による被災地域などの現場で活用できる能力を磨きます。

## IT農業マスター(CAIT) コース **CAIT**: certificated agricultural information technology

震災からの復興に向けて必要とされる「IT」×「農業」の実用性や応用性について「復興農学講義」・「IT農学実習（被災地エクステンション）」を通して理解し、それらを震災による被災地域などの現場で活用できる能力を磨きます。

### 1. 募集定員

- ・復興農学マスター (CAR) コース 40名 程度
- ・IT農業マスター (CAIT) コース 40名 程度

※両コースを同時に受講することができます。  
※募集定員は、学生と一般社会人を合わせた人数です。

### 2. 受講資格

18歳以上の大学生および一般社会人の方（高校生は不可）でやむを得ない事情を除き、すべての講義・実習に参加できる方。

### 3. 受講料

受講料は無料です。但し実習にかかるバス代、食事代、宿泊費などの実費分は、別途徴収いたします。（社会人2万円、学生1万円程度を予定）

### 4. 受講申し込み受付期間（平成28年）

- ◇一般社会人・他大学の学生：4月1日（金）～4月18日（月）
- ◇東北大学の学生：4月11日（月）～4月22日（金）

### 5. お申し込み方法

【一般社会人・他大学の方々】  
ウェブサイトアクセスし、申込用紙にご記入の上、東北復興農学センター事務局へメールまたはFAXでお申込みください。

※学都仙台コンソーシアム加盟大学の学生は、下記を参照

【東北大学（本学）の学生】

通常の履修手続きと同じく、Webシステムにて履修登録を行ってください。

- ・復興農学マスターコース：「復興農学」「復興農学フィールド実習」の2科目
- ・IT農業マスターコース：「復興農学」「IT農学実習」の2科目
- ※両コース受講の場合は、3科目すべてを履修登録してください。

【学都仙台コンソーシアムの単位互換ネットワーク利用の大学生】  
在籍する大学の担当窓口より、お申込みください。

### 6. 受講の許可

応募多数の場合は、学生・社会人とも抽選を行って受講者を決定し、4月25日（月）～4月28日（木）までに抽選結果を通知します。

## カリキュラム（講義・実習） ご案内

社会人と学生がともに学び、ディスカッションを重ねながら、互いに理解を深めます。所定の要件を満たした者を「マスター」として、東北大学農学研究科が認定します。

※カリキュラム内容は平成28年3月1日現在のものです。担当教員の都合により、一部変更する場合がございます。

コース対象	講義・実習名	内 容	日 程	時 間	場 所
復興農学マスター (CAR) および IT農業マスター (CAIT) 共通	復興農学	第1回 開講式 / 新技術を被災地復興に生かすためには	5月13日（金）	18:00～20:00	東北大学農学部 雨宮キャンパス 1番講義室 および 10番講義室
		第2回 被災地経済の復興とその課題	5月20日（金）	18:30～20:00	
		第3回 ITによる圃場環境観測網の構築と農学的意義付け	5月27日（金）		
		第4回 耐塩生植物の育種	6月3日（金）		
		第5回 除草と心の復興を目指したヒツジ放牧	6月10日（金）		
	被災地 エクステンション	被災地に直接訪れ、震災の被害状況、今後の復興に向けての必要知識を体験を通して学ぶ。	6月11日（土）	終日	被災地域 各所
	復興農学	第6回 遺伝的地域性に配慮した津波被災海岸林の再生	6月17日（金）	18:30～20:00	東北大学農学部 雨宮キャンパス 10番講義室
		第7回 テラヘルツ科学を利用した高度な品質管理と高付加価値化	6月24日（金）		
		第8回 農林水産業におけるエネルギー生産と資源循環の構築	7月1日（金）		
		第9回 東日本大震災からの漁業復興 -ゆたかな海へ、科学の力で-	7月8日（金）		
第10回 農業生産環境の震災被害からの修復と環境保全型農業		7月15日（金）			
復興農学マスター (CAR)	復興農学 フィールド実習	川渡フィールドセンターを中心として、フィールドにおける生産システムの実態把握と先端農学技術の応用について体験を通して学ぶ。 また、グループディスカッションにより農業・農村の復興プランを作成し、提案・議論を行う。	7月22日（金）～ 7月24日（日）	2泊3日	東北大学農学研究科附属 川渡フィールドセンター 他
IT農業マスター (CAIT)	IT農学実習	最新の事例を交え、農業へのIT活用について体験を通して学ぶ。 IT農業とは何か、またその可能性についてディスカッションを通じて検討する。	8月20日（土） 8月21日（日） 8月27日（土）	3日 8:50～16:10	東北大学 雨宮キャンパス 他

本センターのカリキュラムは、復興庁宮城復興局より後援を受けています。